

地域ニュース

建設現場の生産性と安全性向上を目的として、中村河川国道事務所発注の「佐賀橋下部工事」現

第一コンサルタンツ(高知市)は、「建設現場における労働生産性データ取得および施工効率化要件整理業務」で国土技術政策総合研究所から優良業務表彰を受けた。写真。

第一コンサル 国総研から優良 業務表彰を受ける 現場の生産性データ取得で



場で、橋台2基を従来の油圧クレーンで施工した場合と定置式水平クレーンで施工した場合の労働生産性

(生産量を労働投入量で割った比率)をクレーンスケールや位置情報、ビデオカメラなどで解析しそれぞれ算出した。その結果、定置式で施工した場合の労働生産性が高いという結果が出た。

同業務で優秀技術者表彰を受けた楠本雅博技術開発部長は「油圧クレーンは資格を有するオペレーターが必要だが定置式は特別教育のみで誰でも操作可能であることが要

因の一つではないか」と分析。「他の現場でも検証しデータの解析を進めたい」と話すとともに「AIを使った経験を今後の事業に生かしたい」と先を見据えていた。